

基調講演

「創始者たちのスヌーズレンの思想と専門資格の必要性について」

姉崎 弘

常葉大学教育学部(特別支援教育)教授
ISNA日本スヌーズレン総合研究所所長
国際スヌーズレン専門支援士

桃井克将

徳島文理大学講師

「スヌーズレンの可能性 ー脳科学の知見からー」

山根文夫

三笠産業株式会社専務取締役

「わが国初のブラックルーム『きらめきの三笠館』の取組の紹介」

嶺也守寛

東洋大学准教授

「産学連携による国産バブルチューブの開発と評価事例の紹介」

姉崎 弘

常葉大学教授

「スヌーズレンの実技指導と解説」

藤澤 憲

和歌山県立和歌山さくら支援学校教諭

「特別支援学校におけるスヌーズレン空間と教材・教具の紹介」

高橋真琴

鳴門教育大学大学院准教授

「児童・生徒の特性を考えたスヌーズレン模擬実践の試み」

理論・実践研究報告等

情報交換会報

姉崎 弘

常葉大学教授

- ◆各グループに分かれて情報交換
- ◆グループごとの発表と指導助言

スヌーズレンの器材・教具の紹介と説明 **国産バブルチューブ、ヨギボー、蛍光・蓄光教材等**

開催日

2017年**11月3日(金)**
10:00~16:40 (受付9:30~)

会場

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 904会議室(9階)
静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL:054-203-5710(代表)

スケジュール

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~11:10 ご挨拶 姉崎先生の基調講演
- 11:20~12:00 理論・実践研究報告(桃井先生・山根専務)
- 12:00~12:50 休憩
- 12:50~14:10 スヌーズレンの器材紹介と実技指導(嶺先生・姉崎先生)
- 14:20~15:00 実践研究報告(藤澤先生・高橋先生)
- 15:10~16:30 情報交換会と指導助言(休憩含む)
- 16:30~ ご挨拶 事務連絡

参加費

7,000円 (サポート研究員:5,000円)

当日入会でサポート研究員になれます。ただし、機関誌をご購入いただけます。

申し込み方法

研修会お申込みフォーム (<https://bookway.jp/snoezelen>)、もしくは裏面のFAX 申込書よりお申込みください。当日会場にて参加費をお支払いください。

販売書籍

- 『スヌーズレンの基礎理論と実際 一心を癒す多重感覚環境の世界—(第2版)復刻版』 価格 **3,000円**(2,500円) サポート研究員価格
(学術研究出版/ブックウェイ) (2015年8月20日発行)
- 『重度知的障がい者のこころよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界』 価格 **3,500円**(3,000円) サポート研究員価格
(福村出版) (2015年7月25日発行)
- 『スヌーズレンの基本的な理解—マーテンス博士の講演「世界のスヌーズレン」—』 価格 **2,100円**(1,500円) サポート研究員価格
(2012年9月24日発行)
- 機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第1号」(2017年1月25日発行) 価格 **2,500円**

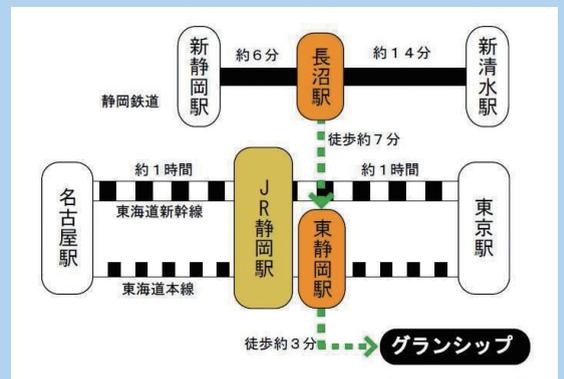
第6回

スヌーズレン研修会



スヌーズレンとは：
1970年代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動やリラクゼーションの一手法として始められた活動です。スヌーズレンの語源はオランダ語の「フンクン匂いをかぐ」と「ウトウト居眠りする」の合成語から成り、今日では、世界中の福祉施設や学校、病院、個人宅などでさまざまな障がい者や病気のある人々などを対象としたレクリエーションや教育・セラピーの方法として広く活用されています。

定員 **70名**
(先着順)



会場：〒631-0805 静岡県静岡市駿河区池田79-4

- JR東静岡駅南口隣接
- 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- 有料駐車場(400台)があります(100円/時間)が、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

研修会に関するお問い合わせは・・・ E-mail: info@bookway.jp

主催：ISNA日本スヌーズレン総合研究所 共催：学術研究出版/ブックウェイ
後援：株式会社ピーエーエス 三笠産業株式会社

第6回 スヌーズレン研修会

テーマ「スヌーズレンの専門性向上を目指して」

基調講演では、姉崎 弘先生による創始者たちのスヌーズレンの思想の紹介とこれから必要となる専門資格の取得、脳科学の知見とわが国のブラックルームについて、午後は、国産バブルチューブ開発の紹介とスヌーズレンの実技指導、特別支援学校での実践・教具の紹介、スヌーズレン模擬実践の試み、さらにグループに分かれての情報交換会と発表、スヌーズレン器材・用具の展示等があります。スヌーズレンの基礎理論、器材・用具の開発、実践の紹介、参加者相互の情報交換があり、各分野の専門家がスヌーズレンをわかりやすく解説します。皆様どうぞ奮ってご参加ください。(今回講師陣の先生方が遠方から参加されるため、参加費を少し上げさせていただきました。どうかご了承ください。)

略歴

あね ざき ひろし
姉 崎 弘

筑波大学大学院教育研究科障害児教育専攻修了。
静岡県公立養護学校教諭（13年間）、
三重大学教授を経て、現在常葉大学教育学部教授。
現在、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所所長。
前国際スヌーズレン協会 (ISNA) International Board。ISNA 日本支部・全日本スヌーズレン研究会初代会長。国際スヌーズレン専門支援士。

※現在月1回程度、全国の特別支援学校や小・中学校などでスヌーズレンの講演と指導助言を精力的に行っている。

1993年 肢体不自由養護学校勤務時代に、授業の中で「光と音楽」のファンタジーの世界を創出してスヌーズレンの授業を行う。
2003年 第2回国際スヌーズレンシンポジウム（オランダ）で研究発表。
2003～2006年 三重県津市療育センターでスヌーズレンの療育実践を行う。
2008年 ベルリン・フンボルト大学リハビリテーション学部在外研究員。
（クリスタ・マーテンス博士の元でスヌーズレンの研究に従事）
2009年 スヌーズレンの研究の必要を痛感し、全日本スヌーズレン研究会を設立。
マーテンス博士の著書『スヌーズレンの基礎理論と実際』（大学教育出版）の翻訳出版。
2013年 「スヌーズレン研究 第1号」を創刊。
2013・2014年 マーテンス博士を招聘し、我が国初のスヌーズレンの資格セミナーを開催。
国際スヌーズレン専門支援士（国際スヌーズレン追加資格）取得。
2015年 日本スヌーズレン総合研究所を設立。
創始者たちの著書『重度知的障がい者のこころよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界』（福村出版）の翻訳出版。
日本特殊教育学会で、「肢体不自由特別支援学校における重度・重複障害児のスヌーズレンの授業に関する全国調査」結果を発表（9月）。
2016年 ISNA 日本スヌーズレン総合研究所に改称。
マーテンス博士より「ISNA JAPAN」（イスナ・ヤーパン）として正式に認定される。
2017年 1月に機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第1号」を創刊。
2012年より日本特殊教育学会等でスヌーズレンのシンポジウムを開催。

お申し込みは
HPまたはFAXで



<https://bookway.jp/snoezelen>
FAX 079-223-3523 (小野高速印刷株式会社 出版事業部)

参加申込書 (FAX)

勤務先		職名	
ご氏名		TEL	
E-mail アドレス	※ご連絡を差し上げる場合のE-mailアドレスをご記入ください。		FAX
ご住所	〒 (-)		
同行者 ご氏名			

※ご記入いただいた個人情報につきましては、主催者の規定により次のとおり適切な安全管理措置を講じます。

1.本研修会の実施にあたって使用し、それ以外の目的には使用いたしません。2.主催者以外の第三者への提供は行いません。

主催：ISNA日本スヌーズレン総合研究所 共催：学術研究出版/ブックウェイ
後援：株式会社ピーエーエス 三笠産業株式会社

平成 29 年 9 月 10 日

各 位

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所
所長 姉 崎 弘
(常葉大学教育学部教授)

第 6 回スヌーズレン研修会開催のご案内

初秋の候 皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本研究所の研究活動並びに研修活動にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、別紙のとおり、平成 29 年 11 月 3 日(金)に静岡市の JR 東静岡駅(JR 静岡駅より 1 駅)に隣接する「グランシップ」を会場に、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所主催、学術研究出版/ブックウェイ共催による「第 6 回 スヌーズレン研修会」を開催する運びとなりましたので、ご案内を申し上げます。

本研究所は、2 年前よりスヌーズレンの正しい理解啓発のための研究および研修活動に取り組んでまいりました。具体的には、年 1 回の機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究」誌の発行、年 2~3 回のスヌーズレン研修会の開催、さらに日本特殊教育学会等でのスヌーズレンシンポジウムおよび研究発表を行ってきております。

今回の研修内容としまして、ご案内のチラシにございますように、創始者たちのスヌーズレンの思想と専門資格の必要性、脳科学の知見、国産初のバブルチューブの紹介、スヌーズレンの実技指導とその解説、実践の取組み方と教材・教具の紹介、スヌーズレン模擬実践の試み、スヌーズレン器材・教具の紹介と説明、さらに参加者相互の情報交換の機会を設定いたしました。スヌーズレンの基礎理論から実践や実技指導、さらに機器・教具、話し合いの場の設定、といった一連の内容を用意いたしました。

本研修会では、スヌーズレンの初心者から経験者の方に至るまで、幅広い層の人々に意義のある研修会にしたいと考え、開催テーマを「スヌーズレンの専門性向上を目指して」と致しました。スヌーズレンを対象者のニーズに応じて、レジャーや教育、セラピーとして、さまざまな形で有効に実践するためには、実践者に最低限の専門知識と技能の習得が求められます。本研修会では、将来の資格認定セミナーの開催を想定して、各分野の専門家の講師を揃え、必須の研修内容を用意するように努めました。

今後わが国においても、スヌーズレンが諸外国に見られるように、さまざまな分野において有効に活用されることを願っております。そのためスヌーズレンに係わる人々の専門資格の取得は今後の大きな課題と考えております。今回の研修会が、参加される皆様方の日頃のスヌーズレンの実践や研究を見直し、さらに充実させる良き機会となりますことを切に願っております。

何かとご多用の時期とは存じますが、ぜひ職場の皆様にも本研修会の開催についてご案内下さいますよう、何卒ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

敬具